



発行：風の松原に守られる人々の会 事務局：〒016-0805 秋田県能代市大手町3-38 成田憲太郎方 電話0185-52-6316

会設立からの歩み

今号には平成22年4月から22年7月中旬までの活動を記録。見出し番号は創刊号からの通し番号です。

138 平成22年度総会開催

昨年までは4月初旬に開催されていたが、今年は他の会合との重複を避けるため4月23日(金)に開催。



総会には米代西部森林管理署から署長の栗林晃氏と流域管理調整官の谷藤忠志氏、山本地域振興局から森づくり推進課長の

「風の松原に守られる人々」



高松武彦氏、能代市から農林水産課長の渡辺信之氏と課長補佐の清水孝雄氏が出席。議長に佐藤幸雄さんを選出して進行、議案(会員には送付済み)はすべて承認された。出席者26名。

139 バードウォッチング

例年、最初の活動はバードウォッチングから始まっている。今年も4月29日(水)朝6:30に陸上競技場本部脇に集合。本会会員の渡辺進さんが講師となつて下の地図の赤線部分の中の数箇所に長時間とどまって小鳥の姿や鳴き声を観察した。



バードウォッチング

は平成14年から毎年行われているが、これまで一度も雨に見舞われたことがなく、今年も好天気。池の

ほとりに着く直前にはフクロウの鳴き声を聞くことができた。今年の参加者は17名だった。

140 市民ボランティア大会

5月8日「風の松原を守る市民ボランティア大会」が開催された。新聞報道によれば「市民ボランティア600人が参加」とあり、平成16年に1,000人規模で行われて以来、年々減少の傾向にあったが、内容は今年が一番充実していた。

※当日の集合場所や作業場所です。

集合・作業場所 (高校生の皆様の作業場所)



大会事務局から送付された「作業場所」(右図)は20年度と同じ内容で、作業区域もトリムランニングコースに限定されていたが、高校生たちは健康づくりの道のウッドチップ歩道まで入り込んで松の枯れ枝を拾い集めていた。その様子は5月11

日の北羽新報の紙面一面を使って写真が掲載されている。本会ではこの活動に対しては、第1回から個人参加としているが、今回は作業リーダーとして5名が参加、そのほか開会式の会場で10名を確認することが出来た。



141 春の自然観察会



5月22日(土)午

前9:30陸上競技場脇に集合した会員と市民あわせて

24名がウッドチップ歩道沿いに春の草花を観察しながら約3km歩いた。途中、シャガの群落はちょうど満開、参加者たちはしゃがみこんでデジカメやケータイで撮影に熱中していた。

142 ニセアカシア萌芽除去作業

今年度はニセアカシア萌芽除去作業の時期を早め回数を増やそうと5月から7月までに3回計画した。第1回、5月28日(金)は朝から小雨のため陸上競技場本部脇に集まった人は約10名。米代西部森林管理署の谷藤さんへの現場説明を兼ねて、小雨の中を平成

19年春に松苗を植林した場所を通り日和山あづまやに向かう。その後雨が強くなったので作業は延期。第1回萌芽除去作業が実際に行われたのは6月3日(木)9:30~11:30まで。参加者14名。

第2回は6月18日(金)に日和山あづまや付近で実施。参加者12名。このときはスコップでニセアカシアの根を掘り起こしてみた。根は地下5~10cm以



内の浅い場所を横に長く伸び、所々から芽を出していた。芽を刈り取られた跡が何カ所も見られた。

【掘り出した根を並べて観察】

第3回萌芽除去作業は7月16日(金)9:00から実施した。参加者は16名。作業区域はウッドチップ歩道No. 1~No. 2~No. 6の両側。



143 風の松原リーフレット【改訂版発行】

前回2008年6月20日に秋田県水と緑の森づくり税の助成を受けて5000部発行したものを切り替えたので、今年度新たに同森づくり税の助成を受けて5000部発行。「改訂版」だが改訂箇所は裏表紙ページと年表部分の追加だけ。サン・ウッドに常備している。

144 会員研修会

6月24日(木)午後1時30分~前会長梅田市美氏を講師に迎え、能代市中央公民館視聴覚室で「能代市風

の松原ビジョンの諸問題」と題する会員研修会を実施した。参加者20名。



145 樹種名札取り付け等の作業

7月2日(金)9:30~11:30まで植物名札取り付け作業を実施した。本年度の実施本数は、新設・補修合わせて16箇所。参加者は12名。

146 越後屋太郎右衛門の松に薬剤散布

本年度の予定にはなかったが、7月6日(火)能代公園テニスコート脇の、越後屋太郎衛門が植えたと言われる



【幹の観察】

【高所作業車から薬剤散布】

松の幹に何か所かマツノマダラカミキリが空けたと思われる穴が見つかったので、緊急に薬剤散布を実施した。

147 組パネル展示

能代の砂防事業開始300年の前年となる今年、秋田県水と緑の森づくり税の助成を受けて作成した組パネル「近代風の松原のできるまで」の展示が行われている。これまでに展示会を開いた学校は、竹生小学校(6月4日~11日)、東雲中学校(6月11日~18日)、向能代小学校(6月18日~30日)、浅内小学校(7月8日~15日)、能代南中学校(7月15日~23日)。

今後は能代二中、第五小、能代東中、湊城南小、



湊城西小、能代一中等での展示が予定されている。写真は浅内小。